# 対リベリア国別開発協力方針(案)

2025年4月

- 1 リベリアに対する開発協力のねらい
- (1)リベリアでは、1989年から2003年まで内戦が続いたが、その後治安状況が改善してきている。また、同国では、2018年の国連リベリア・ミッション(UNMIL)撤退後も選挙は概ね平和裏に実施されてきており、直近では2024年にも平和裏に政権交代が行われるなど、民主主義の定着が進んでいる。同国は、アフリカ稲作振興のための共同体(CARD)イニシアティブを推進する国で、アフリカでも有数のコメ消費国である。平和と安定の確立こそが社会の安定と包摂的な経済成長につながることを示す観点からも、同国の開発を促進していくことは重要である。同国は地域の安定を重視し、西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)加盟国をはじめとする周辺国との関係強化に努めている。我が国とも経済協力を通じて良好な関係を維持している。
- (2) 一方で、同国は、度重なる内戦やエボラ出血熱の流行によって、社会基盤や経済基盤が失われ、いまだに回復途上にある。リベリアの全人口約525万人のうち約33%の173万人が生活する首都モンロビアは、過去14年間で約51%の人口増加を経験しており、舗装道路は全体の0.1%、電気にアクセスできる人の割合は全人口の31.8%、都市部における固形廃棄物の収集率は40%程度に留まるなど、基礎インフラの整備が課題となっている。同国の人間開発指数は、世界の下位10%に位置している(国連開発計画(UNDP)、2025年)ほか、妊産婦死亡率が10万人あたり742人、5歳未満児死亡率が千人あたり37人、5歳未満児発育阻害率が30%にのぼる等、多くの保健関連指数が極めて低い水準にある。。
- (3) これらの課題に対応し、持続可能な発展を実現するために、ボアカイ大統領はARREST(農業、道路、法の支配、教育、衛生、観光)と呼ばれる開発アジェンダを発表し、当該6分野での取組を強化するとともに、2025~2029年の中期戦略を策定している。
- (4) 我が国として、こうしたリベリア政府の取組を後押しし、リベリア内の重要な 社会基盤の整備に貢献することにより、二国間関係の更なる強化につなげる。
- 2 我が国のODAの基本方針(大目標): <u>レジリエントな社会・経済基盤の整備</u> インフラ、保健・栄養、農業、人材育成といった分野での開発協力等を通じ、同国 におけるレジリエントな社会・経済基盤の整備に貢献する。これにより、同国の貧困 削減と経済発展を促進し、もって同国の平和と安定の確立・定着に寄与する。
- 3 重点分野(中目標)
- (1) 持続的かつレジリエントな都市整備

持続的かつレジリエントな都市の整備に向け、道路、電力、廃棄物処理等のインフラ整備を促進することにより、同国の経済活動の促進及び国民生活の改善に貢献する。

## (2) 人材育成等による社会基盤の形成

#### ア 母子保健サービスの強化

極めて低い水準にある保健関連指数を改善するため、母子保健サービスのアクセスと質の向上や保健衛生環境の改善に取り組む。

イ 農業振興を含む食料安全保障の強化

稲作を含む小規模農家の生計向上に資する農業及び水産業の振興に協力する。 また、食料安全保障の観点から、状況に応じて食糧援助を実施する。

#### ウ 人材基盤強化

同国では、十分な教育や職業訓練を受けられなかった若者の失業問題が課題となっている。教育の改善や研修事業の実施等を通じて、開発の担い手となる官民の人材を育成する。

### 4 留意事項

- (1) 同国には大使館の実館がなく、またJICAも現時点ではフィールドオフィスがあるのみであり、我が国の事業実施体制には制約がある。また、開発課題の膨大さと比べ、我が国の投入に限りがある。そのため、実際の事業実施に当たり、協力分野を絞り込むとともに、国際機関等を通じた協力や他ドナーとの連携を図り、できるだけ我が国の投入・協力を通じた課題解決のインパクトの向上に努める。
- (2) SDGs達成に向けた横断的事項及び同国のキャパシティを十分に配慮した案件形成・実施に努める。特に、同国では伝統的慣習等によりジェンダーに基づ く暴力(GBV)が深刻である点に留意する。
- (3) 同国の比較的安定した治安状況等のプラスの側面を生かし、我が国の産学官民の同国への関心を高め、新たなリソースの動員に努める。

(了)

別紙: 事業展開計画

## 対リベリア共和国 事業展開計画(案)

2025年 4月 現在

基本方針 (大目標)	レジリエントな社会・経済基盤の整備											
重点分野 1 (中目標)	持続的かつレジリエントな都市整備											
	著しく破壊された。 足し、インフラ施設	9年から14年に及んだ内戦により主要幹線道路、発電配電施設及び水供給施設等インフラ設備が 更に、2014年からエボラ出血熱が流行したことで、インフラ整備のための予算・技能人材が不 の維持管理体制は脆弱なままであり、老朽化が進んでいる。2024年1月に就任したボアカイ大統 ジェンダであるARRESTでは、道路インフラ整備(Road)が重点課題の1つとされている。	【開発課題への これまでの支援 リエントな都市	実績やと	比較優位	を活かし 、道路、	,、経済流電力、原	舌動の促 廃棄物処	進や国月 理等の1	民生活の改善 インフラ整備	に不可欠な打 を促進する。	寺続的かつレジ
開発課題1-1				実施期間					支援額			
(小目標) 持続的かつレジリ エントな都市整備	協力プログラム名	案件名	スキーム	2024 年度 以前	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	(億円)	SDGs	備考
		ジャパン・フリーウェイ延伸計画	無償							27.25	9	
		ディーゼル発電機メンテナンス能力強化プロジェクト	技プロ				_	_		3.76	7	
		インフラ分野の第三国研修	第三国研修								7	

重点分野 2 (中目標)	人材育成等	成等による社会基盤の形成										
開発課題2-1 (小目標) 母子保健サービス の強化	く、中でも妊産婦別 医療人材・施設のイ 染症、新型コロナウ 国では国家保健政 バレッジ達成を目標 とされている。特に	[日] Sよそ20年経過したが、リベリアの保健システムは未だ脆弱であり、多くの保健・衛生指標は極めて悪 近日で帰死亡率、新生児死亡率は世界でもかなり高い比率となっている。また、患者負担の高い医療費と 近日の不足が医療へのアクセスを阻害する主要因となっている。さらに、エボラ出血熱、ラッサ熱の感 ローナウイルス感染症など新たなグローバル感染症の脅威にも対応しなければならない状況にある。同 を保健政策(2022-2030)が策定され、貧困層のヘルスケアへのアクセス強化を含むユニバーサルヘルスカ でも標とし、健全な医療財政と医療技術の確立、医療人材育成、強靭な医療体制の確立が喫緊の課題 をもに、多数の課題に組織的に取り組むための保健行政マネジメント能力強化、横断的な課題として は、医療機器保守管理マネジメント等が重要なテーマとなっている。										
		案件名	スキーム			実施	期間	士・平安石				
	協力プログラム名			2024 年度 以前	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	支援額 SI (億円)	SDGs	備考
	保健サービス改善 プログラム	母子手帳を用いた母子保健医療サービスの質向上プロジェクト	技プロ							2.98	3	
		リベリア国モンセラード州での母子保健の危機に対する公的サービス改善	マルチ							1.40百万 USD	3	国連人口基金 (UNFPA)
		経済社会開発計画	無償							2.50	3	医療機材
											3	
	【現状と課題】	<b>經済社会開発計画</b>	無償 【闘発課題への	)対応方針	+1					1.00	3	医療機材
	いる。豊富な降雨代農業開発計画(202備を通じて農家の収度を通じて農家の収度をもつがら紛率も低いため、戦等のインフラ整備		【開発課題への 稲作に関する気 家の生産性・4	ロ見と技術 又益性の同	対力を活 日上のた	めの稲化	三産や流道 ■技術の研	通に必要 寉立と普	な基盤素及等の対		現野に入れ	
開発課題2-2	リベリアの農業には下で、	は給自足のレベルから経済立て直しの中核になるべく、近年農業セクターへの投資が促進されて を開沃な土地は農業開発のポテンシャルが高いと言われており、2024年7月に立ち上げられた国家 4-2030)では、食料安全保障及び稲作をはじめとした農産物の生産性向上とバリューチェーン整 は、力増、雇用の確保を目指すとされている。 はリベリア国民の主食であり、安定した供給確保と価格の安定は重要な課題である。しかしな は助然による農業の断続的な停滞が続いたこともあり、未だコメの世帯当たり生産量は少なく、 輸入米に頼る現状である。食料安全保障の観点からも稲作振興は主要課題となっているが、灌 は原遅れ、低い技術力や農業普及員の不足、精米所やマーケティングの不足、融資アクセスの制 近年では気候変動による農業生産への影響も大きい。	【開発課題への 稲作に関す・4 家の生産性・4 から状況に応し	ロ見と技術 又益性の同	対力を活 日上のた	めの稲 ( 施 す る。	E産や流道 技術の面	<b>通に必要</b> 権立と普	な基盤整及等のす		見野に入れた 共に、食料	つつ、小規模農 安全保障の観点
(小目標) 農業振興を含む食	リベリアの農業にはいている。豊富なに、大きなのの農業開発には、大きなのののでは、大きなののでは、大きなののでは、大きなののでは、大きなののでは、大きなのでは、大きなのでは、大きないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、	は給自足のレベルから経済立て直しの中核になるべく、近年農業セクターへの投資が促進されてい肥沃な土地は農業開発のポテンシャルが高いと言われており、2024年7月に立ち上げられた国家4-2030)では、食料安全保障及び稲作をはじめとした農産物の生産性向上とパリューチェーン整7人増、雇用の確保を目指すとされている。はリベリア国民の主食であり、安定した供給確保と価格の安定は重要な課題である。しかしな14血熱による農業の断続的な停滞が続いたこともあり、未だコメの世帯当たり生産量は少なく、強輸入米に頼る現状である。食料安全保障の観点からも稲作振興は主要課題となっているが、灌輸の遅れ、低い技術力や農業普及員の不足、精米所やマーケティングの不足、融資アクセスの制	【開発課題への 稲作に関する気 家の生産性・4	ロ見と技術 又益性の同	対力を活 日上のた	めの稲 ( 施 す る。	■技術の研	<b>通に必要</b> 権立と普 2028 年度	な基盤 及等の <sup>3</sup> 2029 年度	を備の貢献もも を援を行うとま	現野に入れ	
(小目標)	リベリアの農業には下で、	は給自足のレベルから経済立て直しの中核になるべく、近年農業セクターへの投資が促進されて を開沃な土地は農業開発のポテンシャルが高いと言われており、2024年7月に立ち上げられた国家 4-2030)では、食料安全保障及び稲作をはじめとした農産物の生産性向上とバリューチェーン整 は、力増、雇用の確保を目指すとされている。 はリベリア国民の主食であり、安定した供給確保と価格の安定は重要な課題である。しかしな は助然による農業の断続的な停滞が続いたこともあり、未だコメの世帯当たり生産量は少なく、 輸入米に頼る現状である。食料安全保障の観点からも稲作振興は主要課題となっているが、灌 は原遅れ、低い技術力や農業普及員の不足、精米所やマーケティングの不足、融資アクセスの制 近年では気候変動による農業生産への影響も大きい。	【開発課題への 稲作に関す・4 家の生産性・4 から状況に応し	可見と技術 収益性の応 た食糧3	デカを活 可上のた 支援を実 2025	めの稲( 施する。 <sub>実施</sub>	期間 2027	<b>寉立と普</b> 2028	2029	を備の貢献もれた接を行うとき	見野に入れた 共に、食料	つつ、小規模農 安全保障の観点
(小目標) 農業振興を含む食	リベリアの農業には下で、	記給自足のレベルから経済立て直しの中核になるべく、近年農業セクターへの投資が促進されてか肥沃な土地は農業開発のポテンシャルが高いと言われており、2024年7月に立ち上げられた国家4-2030)では、食料安全保障及び稲作をはじめとした農産物の生産性向上とバリューチェーン整2入増、雇用の確保を目指すとされている。はリベリア国民の主食であり、安定した供給確保と価格の安定は重要な課題である。しかしな3血熱による農業の断続的な停滞が続いたこともあり、未だコメの世帯当たり生産量は少なく、輸入米に頼る現状である。食料安全保障の観点からも稲作振興は主要課題となっているが、灌輸の遅れ、低い技術力や農業普及員の不足、精米所やマーケティングの不足、融資アクセスの制近年では気候変動による農業生産への影響も大きい。	【開発課題への 相作に関するの 家の生産性・山 から状況に応し	可見と技術 収益性の応 た食糧3	デカを活 可上のた 支援を実 2025	めの稲( 施する。 <sub>実施</sub>	期間 2027	<b>寉立と普</b> 2028	2029	を備の貢献もれた接を行うとき	見野に入れ 共に、食料 SDGs	つつ、小規模農 安全保障の観点
(小目標) 農業振興を含む食	リベリアの農業にはいて、アウランの農業を関いて、アウランの農業を関いて、アウランの場所をできて、アウランのではないではないでは、アウランのではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	は給自足のレベルから経済立て直しの中核になるべく、近年農業セクターへの投資が促進されて肥沃な土地は農業開発のポテンシャルが高いと言われており、2024年7月に立ち上げられた国家4-2030)では、食料安全保障及び稲作をはじめとした農産物の生産性向上とバリューチェーン整7人増、雇用の確保を目指すとされている。はリベリア国民の主食であり、安定した供給確保と価格の安定は重要な課題である。しかしなは血熱による農業の断続的な停滞が続いたこともあり、未だコメの世帯当たり生産量は少なく、輸入米に頼る現状である。食料安全保障の観点からも稲作振興は主要課題となっているが、灌賃の遅れ、低い技術力や農業普及員の不足、精米所やマーケティングの不足、融資アクセスの制近年では気候変動による農業生産への影響も大きい。  ***********************************	【開発課題への 相作に関するよ 報の生産性・山 から状況に応し スキーム	可見と技術 収益性の応 た食糧3	デカを活 可上のた 支援を実 2025	めの稲( 施する。 <sub>実施</sub>	期間 2027	<b>寉立と普</b> 2028	2029	を備の貢献もれた接を行うとき	見野に入れ 共に、食料 SDGs	つつ、小規模農 安全保障の観点
(小目標) 農業振興を含む食	リベリアの農業にはいて、アウランの農業を関いて、アウランの農業を関いて、アウランの場所をできて、アウランのではないではないでは、アウランのではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	は給自足のレベルから経済立て直しの中核になるべく、近年農業セクターへの投資が促進されて肥沃な土地は農業開発のポテンシャルが高いと言われており、2024年7月に立ち上げられた国家4-2030)では、食料安全保障及び稲作をはじめとした農産物の生産性向上とパリューチェーン整7人増、雇用の確保を目指すとされている。はリベリア国民の主食であり、安定した供給確保と価格の安定は重要な課題である。しかしな1血熱による農業の断続的な停滞が続いたこともあり、未だコメの世帯当たり生産量は少なく、輸入米に頼る現状である。食料安全保障の観点からも稲作振興は主要課題となっているが、灌1の遅れ、低い技術力や農業普及員の不足、精米所やマーケティングの不足、融資アクセスの制近年では気候変動による農業生産への影響も大きい。  ***********************************	【開発課題への 無常の生産性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	可見と技術 収益性の応 た食糧3	デカを活 可上のた 支援を実 2025	めの稲( 施する。 <sub>実施</sub>	期間 2027	<b>寉立と普</b> 2028	2029	を備の貢献ももを接を行うとき	見野に入れ 性に、食料: SDGs	つつ、小規模農 安全保障の観点

開発課題2-3 (小目標) 人材基盤強化	は、社会を牽引する若者世代は、内戦期に十分な教育や職業訓練を受けておらず、高い失業率が深刻な社会問題となっている。また、貧困、保護者の学校教育への理解や協力の欠如、教育省の予算や人材の不足などを背景として、初等教育からの就学、学齢超過、教員の人数不足や教育の質に大きな課題がある。結果として識字率が60%(国勢調査2022)と低く、産業を担う次世代の人材が育っていない状況であり、基礎教育から職業訓練に至るまで				【開発課題への対応方針】 教育の改善や職業訓練を通じた人材育成事業、行政能力の向上等により、雇用創出や失業問題の解決を 目指す。また、学校・教室の収容能力が不十分な地域において、校舎の新設等の支援を行う。									
	協力プログラム名	案件名	スキーム	2024 年度 以前	2025 年度	実施 2026 年度	期間 2027 年度	2028 年度	2029 年度	支援額 (億円)	SDGs	備考		
	人材基盤強化プロ グラム	教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.10	4			
		人材育成分野の長期研修	課題別研修他								8,9			

【SDGsの詳細】https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs\_pamphlet.pdf